

令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」 についての事例

令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰受賞

市町村名	北秋田市
関係する学校	北秋田市立鷹巣小学校（令和2年4月学校運営協議会設置）
関連する本部	鷹巣地域学校協働本部（平成29年6月設置）
取組名	地域学校協働活動推進員が核となり地域と協働した「ふるさと教育・キャリア教育」の推進



推進員も委員として参画する学校運営協議会



J A女性部による「ちゃぐりん料理教室」

取組の背景

鷹巣小学校では、令和元年度まで学校評議員会制度を活用し、学校評価及び授業参観等を通して委員からいただいた意見を学校経営に生かして、地域と共にある学校づくりを進めてきた。令和2年度からは学校運営協議会制度を導入し、地域学校協働活動推進員（以下、推進員）、商工会関係者、PTA役員、民生児童委員、教務主任等を新たに加えた委員で編成している。「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校運営協議会での協議内容に基づき、推進員が核となって地域学校協働活動を実施することで地域と学校の協働体制を構築している。

目標

学校：「ふるさと教育・キャリア教育」の実践を土台に未来を生き抜く力を育む
 地域：地域全体で子どもたちの成長を支えていく環境づくり ～地域と学校が共に手を携えて～

活動の特徴・工夫

【学校運営協議会の取組】

- 学校運営協議会では「地域に目を向ける」「環境保全・奉仕活動」「郷土の歴史や文化・産業に触れる」「人との触れ合いを深める」「未来を見つめて」の視点で協議し、地域と学校が連携し、生活科・総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム・マネジメントの充実を図っている。
- 実効性のある協議にするために、学校運営協議会委員には、前期・後期の学校評価結果（児童・保護者・教職員が評価）を事前に配付し、各自の意見を準備して会議に臨んでいる。
- 委員を選出する際には次のような人材に入ってもらっている。
 - ・日頃から学校教育の活動に関わったり、地域活動に関わったりしている団体のリーダー
 - ・協議内容を地域学校協働活動に反映させることができる人材（推進員、地域ボランティア）
 - ・協議内容を「社会に開かれた教育課程」に反映できる人材（教務主任）

【地域学校協働活動の取組】

- 生活科・総合的な学習の時間には、「植物の世話活動を通して児童の思いやりの心を育む」という願いを学校と地域が共有し、農園活動をはじめとする様々な体験活動を実施している。
 - 〈活動の例〉「ちゃぐりん教室」
 - ・農園の野菜のお世話 ・クリスマスリースづくり ・収穫した野菜を使った料理教室 等
- 授業で用具・器具等を初めて使用する際や導入時には、地域ボランティア等がマンツーマンで児童に指導したり活動を補助したりしている。
 - 〈活動の例〉
 - ・鍵盤ハーモニカ等の楽器の指導（音楽科） ・のこぎり使用の補助（図画工作科）
 - ・手縫いやミシン操作の補助（家庭科） 等
- 児童の興味・関心や技能の向上につながるように、地域ボランティア等による専門的な知識・技能の指導をしている。
 - 〈活動の例〉
 - ・県ネイチャー指導員による森林学習 ・地域の音楽関係者による金管バンド部の技術指導 等

活動の特徴・工夫	<p>【一体的推進に当たっての工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○P D C A サイクルを機能させ、推進員が学校運営協議会委員として、学校経営構想に基づいて児童の実態等を把握し、育てたい資質・能力を地域ボランティアに明確に伝えながら、地域学校協働活動を進めている。また、学校運営協議会において、推進員が地域学校協働活動の様子及び成果や課題を各委員に伝えている。 ○年3回、推進員と全教職員が活動内容の確認や活動後の振り返りをしたり、児童の変容、地域ボランティアの感想等を話し合ったりする場を設けている。 <p>【推進員の上記以外の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員と地域学校協働活動のねらいについて共通理解を図り、そのねらいを地域ボランティアに伝えながら活動を実施している。 ○地域学校協働活動後の地域ボランティアの声を教職員に伝えたり、児童の声を地域ボランティアに伝えたりしている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会での協議内容、地域学校協働活動での様子や児童及び地域ボランティアの感想については、随時、学年通信、学校報、HP及びPTA会報等で保護者等への周知を図っている。
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域学校協働活動を通して、ふるさと北秋田市への愛着と誇りをもつ児童が増えた。このことが、コロナ禍においても地域と関わる活動を継続したいという児童の意欲につながった。 ◇学校運営協議会での提案が学校と多様な地域住民とのつながりを生み出し、生活科・総合的な学習の時間を中核とした「ふるさと教育・キャリア教育」が行われ、ふるさとを創る次世代の人材育成につながる教育活動を展開することができた。 ◇推進員が中心となり活動を実施することで、教職員は児童をより丁寧に見取ることができるなど、教職員の働き方改革に寄与することができた。

【コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る組織図】

